

 昭和46年開校 平成25年CS指定 野火止小は保護者や地域と共にあるコミュニティ・スクールです	野火止小だより 学校地域教育目標 考え学ぶ子 仲よくする子 たくましい子 地域を愛する子	めざす学校像 -全ての児童が確実に伸びる学校-	4月の生活目標 元気よくあいさつや返事をしよう ○4つの言葉を大切に ・はい ・ありがとう ・おはよう ・ごめんさい
		4月号 令和6年4月8日 新座市立野火止小学校 児童数 557名・学級数 21 学級 住所 新座市野火止 4-9-1 TEL 048-477-1211	

卯月 全ての児童が確実に伸びる学校

校長 丹代 円

令和6年度がスタートしました

暖かい春の日差しを一身に受け、色とりどりの花々が美しく咲き誇る季節になり、新しい年度が始まりました。

保護者の皆様、お子様のご入学・ご進級おめでとうございます。

本年度は新入学児童84名を迎え、全学年3学級、たんぽぽ学級3学級の計21学級、児童数557名でスタートいたします。

春休み中の4月4日、新6年生が新年度の準備作業を行いました。教科書の配布や机の移動、新1年生の教室準備や、校舎内の掃除など、一生懸命に働き自分から進んで行動する様子に、最高学年になった自覚と新1年生を迎えることへの喜びを感じました。今年も、6年生がリーダーシップを発揮して、野火止小学校を引っ張ってくれるものと期待しています。



4/4の準備登校の様子



本年度の重点

年度当初に教職員に本年度の重点を以下の3点に絞って伝えました。

- (1) 学習の個性化と指導の個別化を図ること
- (2) 多様性を尊重すること
- (3) エージェンシーを育むこと

OECDではラーニングコンパス2030とした教育の望ましい未来に向けた未来像の中で、個人と集団のウェルビーイングに向けた方向性を示しています。その中心的概念となっているのが「生徒エージェンシー」です。生徒が教師の決まりきった指導や指示をそのまま受け入れるのではなく、未知なる環境の中で、自立で歩みを進め、意味のある、また責任を伴う方法で進むべき方法を見出す必要性が強調されています。これまで学校では、画一的な枠組みの中での統制的な教育から、児童の自律性を高める主体的対話的で深い学びのある教育への転換が図られてきましたが、社会の変化に合わせて、さらに学校の在り方を見直す必要があると考えます。エージェンシーを育むために、向き不向き、感じ方、好き嫌い、個々の特性などの多様性を前提として、自分も相手も大切にするにはどうすればよいのかを考え、学校にあるきまりを見直してまいります。また、1時間1時間の授業の中でも児童のエージェンシーを育むように「指導の個別化」だけでなく、「学習の個性化」を図った授業づくりを進めてまいります。

これらのことを踏まえ、「のびゆく のびっ子 プロジェクト」を「令和6年度 ver.」とし「全ての児童が確実に伸びる学校」づくりを進めるべく、新たな気持ちで取組を積み重ねてまいります。今年も皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

